

生浜小学校アフタースクール 出前講座

テーマ「私たちの住む生浜地区を知ろう

日時 令和6年2月2日(金)15:30~16:30 会場 生浜小学校教室

担当者 NPO 法人・ちば生浜歴史調査会 会員

「生浜地区はどこなのかを地図で確認?」

「生浜地区が君たちの故郷にな

るんだよの確認?」

「浜野・村田・塩田にはもともと海があったんだよ」

「その海で海苔の養殖がおこなわれていたんだよ」

「海苔の養殖は、そうだね

君たちのおじいさんおばあさんが小学生くらいの時のことだよ」

☆このような語り口から子供たち30名ほどに「海苔のできるまで」というDVDを見せてあげました。子供たちは所かまわず感じたままを口にする、そして質問の連発である。それらに対応していくとだんだん集中して見ている雰囲気が伝わってきた。

そして半農半漁の生浜地域の生活状況が分かってきたような顔つきであった。

☆最後に出来上がった海苔を業者が買い取りに来たシーンで「だいたいいくらくらいかな?」

「百億円!!!」の答えには子ども心の一途なものを感じた次第だ。結局は3万円だったのだが、当時の3万円が今に換算すると15万円ほどだと教えた。…当時の国鉄の初乗りが30円、現在のJRの初乗りが150円…

☆続いて本会所有の「ふるさとすごろく」をグループに分かれてすごろく遊びをした。子供たちはゲームに飛びついた。私たちの住む生浜の事を知る前にゲームの勝敗が優先したことは言うまでもない。最後に子供たちは率先して感謝の言葉を言いたがる。「楽しかった。もっとやりたい。ありがとうございました。」の感謝の笑顔に「まちづくりに貢献してくれそうな期待を持った。



第69号

2024.3.30

発行

NPO 法人

ちば・生浜

歴史調査会

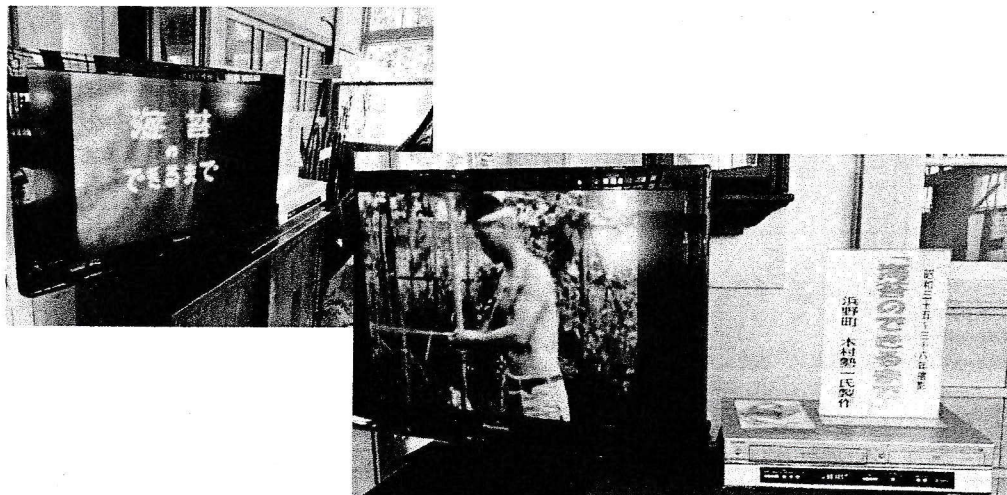
電話

080-5387-

2592

「海苔のできるまで」DVD は故・木村勢一さんが昭和37年に自宅の8ミリ映写機で録画していたものをいただき、DVD に移したものです。本会所有のもので旧生浜町役場で常時放映中です。

「ふるさとすごろく」は故・白井三郎さんの作成した生浜地区の歴史に関する事柄をすごろく形式にまとめたものです。7種類の分野について作成されています。本会所有のもので旧生浜町役場で閲覧できます。



くぎ
「千年の釘に会いに来てみませんか」

せんねんくぎ
「千年釘」を展示中です

❖右の写真は、古代の職人の製法に限りなく近づこうと探究して製作した「和釘」と言われるものです。この和釘は千年以上もの間、そのままの形で残っていたので「千年釘」と言われています。

❖1970年、薬師寺の再建事業が行われた際にこの「千年釘」の存在が判明して、また新しい「千年釘」が必要となりました。全て限りなく古代の建て方や方法で現代に再現しようという数十年がかりの大事業でした。千年の釘を生み出した古代職人の巧みな技は、それを追求してつくりあげた現代職人の努力で見事に成し遂げられたのです。



❖小学校教科書（光村図書）五学年の題材に『千年の釘にいどむ』として取り上げられており記憶にある方も多いと思います。近隣の小学校3校（生浜西小・生浜東小・生浜小）に紹介しました。実物に触れる体験は子どもたちの興味関心が高揚されたとのことでした。

❖こうした技を受け継いでいる鍛冶職人や鍛冶場に、仲間と出向き「千年釘」に出会ったのがNPO法人ちば生浜歴史調査会の今井理事です。この和釘を製作した奈良の「白鷹工房」の釘は現在旧生浜町役場庁舎に保管展示されています。

★「白鷹工房」…土佐派鍛冶・白鷹幸伯(しらたかゆきのり)銘/興光

【千年の釘を見ている生浜西小の児童】



❖千年の釘が製作された過程には、必ず尽力した人々が存在します。どのような人々が携わり、どんな研究をして、どんな製法で行ってきたのか等について若干の資料を添えて現代版「千年釘」を展示しています。どうぞ旧生浜町役場庁舎に足を運び、「千年釘」に会いに来てみませんか。そして、直接触れて手触りや重みを感じてみてはいかがでしょうか。お待ちしております。

常設展示もご覧ください

生浜地域で使用されてきた農具・漁具・生活民具を展示公開しています。昭和30年代中心の展示になります。実物に触れることができる場となっております。

本会としては今年1年かけてこれら展示品と浜野町所有の関連の品を図録化する作業に取り掛かっております。本物に触れることは昔をしのぶ最良の方法だと思います。

